

入選

思いやりの答え

栃木県 大平中学校

3年 本橋由衣

私は昨年、家族と東京へ旅行に行きました。久しぶりの旅行で、心躍っていた私は、無我夢中で東京の観光地をたくさん訪れました。その中で、休憩として立ち寄ったショッピングモールで買い物をしているときでした。

妹が急に、「ないっ……。」と啞然とした様子で立ち尽くしていました。どうしたのかと思い、声をかけてみると、「私のバックがないの。どうしよう……。」と、大変焦った様子が伝わってきました。その言葉を聞いた瞬間、私は頭が真っ白になりました。財布や携帯などの貴重品、住所や名前が記載されたものがバックには入っていたため、「犯罪に巻き込まれるのではないか。」「妹の個人情報が流失し、嫌な思いをしてしまうのではないか。」と多くの不安に駆られ、しかも慣れない地でのできごと絶望していました。

それから、妹が歩いた道すじをたどり、建物内を走り回っていました。すると、1人の女性が私に声をかけてくれました。

「もしかして、バックをお探しですか」

私は、「えっ。」と目が点になりました。詳しく話を聞いてみると、トイレを利用した際に、壁際にかかった状態で忘れられたバックを発見したそうで、近くの店舗に届けたとのことでした。私はその言葉を聞き、本当に安心しました。正直なところ、大都会の東京でバックをなくし、それが返ってくるなんて、私はありえないと思っていたからです。

すべての人が良心であふれているわけではないし、悪事に利用する可能性だって考えられました。バックを届けていただき、さらには私たちに声をかけ、笑顔で接してくださったその女性の優しさは、まさに「日本人の鏡」だと思いました。

そのお店まで案内していただき、妹がバックを受け取る最後のときまで付き添い、

「良かった。物は大切にね。東京の旅行、楽しむんだよ。」

と、私たちにあふれんばかりの笑みとともに、残していった言葉は今でも忘れられません。

その後、私は何としてもあの女性にお礼がしたいと思い、走って追いかけて、話しかけたのですが、

「そんなお礼はいりません。人は助け合って生きているのですから、大丈夫です。ただ持ち主の方が悲しむのではないかと思います、行動したまでです。でも、その気持ちは忘れずにね。じゃあ、良い1日を。」と立ち去っていきました。

私は女性の優しさに心から感謝し、助け合いの大切さを改めて知ることができました。女性の行動から、助け合うすばらしさ、優しさ、感謝の意味など、多くの面で何か得るものがありました。

これからは、困っている人がいたら助ける、日常生活の中にあるふとした感謝などを心がけ、「人」という漢字のように互いに助け合い、多くの人に笑顔を与えられるような人になりたいです。